



令和8年度 創立 154 周年 奄美市立名瀬小学校学校だより 令和8年4月30日

あかぎ

4月号

今年度もよろしくお願いいたします（校訓を大切にしたいと思います）



入学式、6年生がやさしく活躍しました。

校長 中村 勝

3月に57名の6年生が立派に卒業し、ピカピカの40名の新1年生を迎えることができました。学校全体では少し児童数が減少し、289人でのスタートです。

朝、登校指導をしていると、新1年生の「おはようございます」のあいさつが素晴らしいです。

また、他の学年の子どもたちも昨年より、あいさつがよくなってきていると感じています。令和8年度、子ども

たちが元気よく過ごしていけることを願っています。よろしくお願いいたします。

さて、始業式や入学式では、何を話そうか迷いましたが、校訓を中心に話をしたところです。私は、名瀬小学校で、校訓と校歌が好きだからです。

名瀬小学校の学校教育目標

豊かな心とたくましい体をもち、自ら考え、
協力して最後までやり通す意思と実践力のある子どもを育成する。

特色ある学校づくりの推進スロー

歴史と伝統に学び 未来にはばたく 名小の子

名瀬小学校の校訓

石段に学ぶ 正しい心 素直な心 強い心

この名瀬小学校の校訓は、ごく最近、平成21年に文部科学大臣の提案「校訓を見つめ直し実践する。先生と子どもが一緒になって各学校にある校訓を具体化する取組を継続的に実践し、地域でこれを応援しよう。」を受けて、平成22年度から校訓制定委員会を設立し、平成24年12月14日に制定されています。

今から13年ほど前になります。

意味としては、創立以来、また、祖国復帰運動のシンボルとなった石段を柱として、

- 児童一人一人が自分や周りを正しく理解し判断する心
- 周りの意見を素直に聞く心
- 決めたことは最後まであきらめない強い心

この3つの心を備え、教育目標を達成し、未来をたくましく生き抜いてほしいという願いを込めてつくられたものです。

「素直」という言葉は、考えると少し難しいのですが、調べると「ただ言われたままに聞くのではなく、言われたことの意味をしっかりと考え実践すること」とありました。

今年度も、この3つの心を中心に精一杯、子どもたちと取り組んでいきたいと考えています。御協力よろしくお願いいたします。

名瀬小学校の新メンバー

令和8年度、新たなメンバーとして、8人の職員が転入してきました。一日も早く学校や地域に溶け込めるようにと張り切っています！

職	氏名	前任校等
教諭	池之上 信秋	奄美市立小湊小学校
教諭	本田 明美	龍郷町立赤徳小学校
教諭	本田 親朋	南さつま市立小湊小学校
教諭	松元 琴音	霧島市立国分西小学校
教諭	内山 由佳	鹿児島市立坂元台小学校
講師	永田 早由美	臨時的任用
講師	水間 夕生	臨時的任用
講師	荒木 恵里佳	臨時的任用

5月 行事予定

- 1 日(金) 校内スケッチ大会
- 11 日(月) 校内人権週間(～15 日)
ふれあい相談(～14、27、6/3)
- 12 日(火) 全国運動能力調査
- 14 日(木) 教育実習 (～6/10)
- 15 日(金) 授業参観・PTA 総会
- 16 日(土) 青少年育成の日
- 17 日(日) 家庭の日・市民清掃の日
- 20 日(水) ジョイントプラン
※午前授業(全校 13:00 下校)
- 25 日(月) 教育実習 (～6/12)
- 27 日(水) 5 年生集団宿泊学習(～28 日)
- 29 日(金) 1 日遠足 (1～4 年)
集団宿泊学習休養措置日
プール掃除(6 年生)
- 31 日(日) P T A 奉仕作業

5 連休にむけて (3 点御確認ください)

御家庭で過ごし方のたしかめを

今年の連休は5日間です。楽しく充実したものにするために、家庭での約束や学校の約束をたしかめてください。連休明け子どもたちが笑顔で登校するのを楽しみにしています。
※「名瀬小学校のきまり」→ 学校 HP で御確認いただけます。

安心・安全メール、まなびポケットの登録を

御登録の安心・安全メールは進級処理をしてあります。ただし、お子さんの学級更新が必要です。※ 専門部更新については今しばらくお待ちください。

まなびポケットについても再ログインが必要ですので改めて御確認をお願いいたします。御不明な点はお問い合わせください。



名瀬小HPはコチラから

交通安全教室を行いました「これだけは 100 点満点に」

4 月 25 日(金)に 1～4 時間目までそれぞれの学年で実施しました。

1～3 年生は横断歩道のわたり方や道路歩行の仕方、4～6 年生は 1～3 年生の内容に加えて、自転車走行の仕方、今回特にヘルメットの大切さの講話や調整の仕方を行いました。

自転車を持っていて、ヘルメットを持参した子どもたちを見ていると、あみだかぶりをしていたり、ぶかぶかだったり、あごひももゆるかったりする様子が見られました。これは、休みの日に校区内を移動しているときにも見られますし、あごひも自体を付けていない様子も見られ、声をかけることがあります。

昭和後半世代にとってのシートベルトのように、「正しくつけることが当たり前」となるように御家庭でもサイズの確認をしてほしいと思います。

「これだけは 100 点満点に」というのは、「事故に遭ったけど一命はとりとめた」や「事故に遭ったけど骨折だけですんだ」ということでではなく、「ぜったいに事故に遭わない」ということです。

交通安全教室でどんなことを学んだか、御家庭で確認できる連休にしてください。



「クラスメイト何人覚えた？お名前言えるかな？」

新学期が始まって一か月、この連休中、お子さんとの話題として、特に下学年(1～3 年生)にこの見出しのような質問をしてみませんか？

子どもたちは習い事や学童等で仲の良い子や、ややもすると「よく注意されているなあ」と感じている子のことは強く印象に残っていて、すぐに上がってくるかもしれません。縁あつてのクラスメイト、みんなまで互いを知り合うことで、対人関係などの成長へとつながる第一歩になると考えます。

しばらく経ってから同じ質問をして、「前より増えてる！すごいね！」と褒める機会にもできます。ぜひお試しください。子どもたちの自己肯定感を高めてほしいと思います。